



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2022年5月6日(金)

No.2

孤独と交わり

「創世記」第2章18節に、「人が独りであるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう」という神ご自身の言葉があります。確かに、私たち人間は独りで生きていくことはできないし、また、互いに助け合わなければ生きていくことができない存在です。言い換えれば、人間とは本質的に交わりに生きる共同体的存在です。みなさんもこれまで、このことはしばしば教えられてきたのではないのでしょうか。しかし一方で、人間はしばしば「孤独」の中に置かれる存在でもあります。それでは、交わりと孤独ということ、私たちはどのように考え、受け止めたらいでしょうか。

ディートリヒ・ボンヘッファー(Dietrich Bonhoeffer, 1906-1945)という、ドイツの神学者・牧師に、以下のような言葉があります。

わたしはこう認識する。・・・ただ交わりの中にいる時のみ、わたしたちはひとりであることができるし、ただひとりである者のみが、交わりの中で生きることができる、と。・・・ただ交わりの中においてのみ、わたしたちは正しくひとりであることを学ぶのであり、ただひとりであることにおいてのみ、正しく交わりの中にあることを学ぶのである。・・・ひとりであることなしに交わりを望む者は、言葉と感情の空虚さにおちいり、交わりなしにひとりであることを求める者は、虚無と自己幻想と絶望の深みに滅びる。ひとりであることのできない者は、交わりに入ることを用心しなさい。交わりの中にいない者は、ひとりであることを用心しなさい。

ボンヘッファーはここで、交わりと孤独のどちらを欠いても人間は健やかに生きることにはできないと説いています。翻って考えてみるに、このコロナ禍という事態は、私たちに、交わりに生きることと孤独に生きることを根本的に考えさせるきっかけとなるのかもしれませんが。

(人文学部チャプレン 柳田 洋夫)

2022年度 年間聖句

主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

(詩編 37 編 23 節)

5月 月間聖句

主は憐れみ深く、正義を行われる。

わたしたちの神は情け深い。

(詩編 116 編 5 節)

2022年度春学期全学礼拝 4月12日(火)~7月8日(金)

全学礼拝は火曜日~金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分~15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでのオンライン礼拝配信となります。

聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン



5月10日(火)

— 学生の証し —

証し 阿久津聖奈(心理福祉学科4年)
司会者 菊地 順
奏楽者 富岡 真奈

前奏
讃美歌 二編 167 番 1 節
聖書 マタイによる福音書 7章 7 節
(新約 P.11)

祈禱
奨励 「神さまとの出会い」

祈禱
讃美歌 二編 167 番 3 節

主の祈り
後奏

5月11日(水)

奨励者 田村 綾子
(心理福祉学部兼人間福祉学部長・
心理福祉学科教授)

司会者 柳田 洋夫
奏楽者 相川 徳孝

前奏
讃美歌 二編 167 番 1 節
聖書 雅歌
1章 15 節～2章 3 節 a
(旧約 P.1049)

祈禱
奨励 「エンパワメント・アプローチ」

祈禱
讃美歌 二編 167 番 5 節

主の祈り
後奏

5月12日(木)

奨励者 小池 茂子
(副学長・人文学部長・児童学科教授)
司会者 洛雲海
奏楽者 清水 貴子

前奏
讃美歌 452 番 1 節
聖書 ガラテヤの信徒への手紙
5章 13 節 (新約 P.349)

祈禱
奨励 「あなたがたが召されたのは、
真に自由を得るためである」

祈禱
讃美歌 452 番 3 節
主の祈り
後奏

5月13日(金)

奨励者 菊地 順
(政治経済学科教授)

司会者 木村 太郎
奏楽者 今村 優子

前奏
讃美歌 122 番 1 節
聖書 マルコによる福音書
10章 32～34 節(新約 P.82)

祈禱
奨励 「一步を踏み出す」

祈禱
讃美歌 122 番 3 節
主の祈り
後奏

今後の全学礼拝奨励者のご案内

全学礼拝のオンライン礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 5月17日(火) 塚本良樹先生 (キリスト者学生会関東地区主事、本学講師)
- 5月18日(水) 大坪園子先生 (日本キリスト教団熊谷教会副牧師、本学講師)
- 5月19日(木) 坂井悠佳先生 (和泉短期大学チャプレン、本学講師)
- 5月20日(金) 帆苅基生先生 (弘前大学教員、本学講師)
- 5月24日(火) 安井 聖先生 (日本ホーリネス教団西落合キリスト教会牧師、本学講師)
- 5月25日(水) 村瀬天出夫先生(学長補佐・欧米文化学科准教授)
- 5月26日(木) 藤掛 明先生 (聖学院大学総合研究所客員教授)
- 5月27日(金) 嶋田恵悟先生 (日本キリスト教団土浦教会牧師)
- 5月31日(火) 柳田洋夫チャプレン(人文学部チャプレン)
- 6月 1日(水) 山口 博先生 (聖学院院長・キリスト教センター所長)
- 6月 2日(木) 宮本 悟先生 (政治経済学科教授)
- 6月 3日(金) 木村太郎チャプレン(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)

◇ キリスト教音楽会 5月18日(水)AM10:40～ オンデマンド配信 ◇

聖学院大学恒例のキリスト教音楽会では、
今年、ゴスペル・シンガーソングライター「Migiwa」さんをお招きします！

※配信の詳細は後日 UNIPA にてお知らせします。

～プロフィール～
クリスチャンの家庭に生まれ、幼少から教会に通い聖歌隊などで音楽に親しむ。
アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験を通し生み出された楽曲や、透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。



◇ キリスト教と諸学の会 5月25日(水) AM10:40～12:40 ◇

発表者：今出 敏彦 先生(欧米文化学科教授)
会場：教授会室
発表題：「原発と地震」
(要申込)申込期限：5/18

※お申込を希望される方は、キリスト教センターまでご連絡をください。
※新型コロナ対策として、お申込が定員を超える場合はチャペルに変更の可能性がございます。その際は UNIPA 掲示板でお知らせします。



次回の Chapel News 発行日は、6月3日(金)です。